

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習 I	c		13101	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

英米児童文学の原書を読解することにより英語力の向上を図るとともに、文学作品の鑑賞眼を養う。また、演習で学んだことより、自分の考えをまとめ発表する力を身につける。このクラスではKAISEI パーソナリティのA（自律）とI（知性）、In（国際性）を養う。

授業の概要

英米児童文学の代表的な作品を読解する。まず比較的読みやすい"The Wonderful Wizard of Oz"を読解後、それぞれの考えをまとめて発表する。アダプテーション作品についても考察する。

授業計画

- 1 イントロダクション
- 2 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 1 ~ Chapter 2
- 3 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 3 ~ Chapter 4
- 4 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 5 ~ Chapter 6
- 5 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 7 ~ Chapter 8
- 6 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 9 ~ Chapter 10
- 7 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 11 ~ Chapter 12
- 8 "The Wonderful Wizard of Oz" Chapter 12 までの復習 Review Quiz
- 9 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 13 ~ Chapter 14
- 10 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 15 ~ Chapter 17
- 11 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 18 ~ Chapter 20
- 12 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 21 ~ Chapter 23
- 13 "The Wonderful Wizards of Oz" Chapter 23 総復習と Review Quiz
- 14 "The Wonderful Wizard of Oz" についての各自の発表
- 15 "The Wonderful Wizards of Oz" のアダプテーション作品について総復習

授業の方法

各自が内容について調べて発表する。また、読解後にテーマを決めてグループディスカッションを行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点（発表含む）40%、小テスト20%、レポート40%
課題、小テスト、発表のフィードバックは授業中に行う。レポートは個別にフィードバックする。

欠席について

規定に従う。

テキスト

L. Frank Baum. "The Wonderful Wizards of Oz" Dover Children's Evergreen Classics
ハンドアウトを使用する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は発表形式で行いますので、積極的に参加すること。予習と復習が必須です。授業には必ず辞書を持参すること。

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習 I	d		13101	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
小野 礼子	必修	2				

授業の到達目標

ことばに対する理解を深め、様々な言語や言語変種、そして、それを使う人々に対する正しい態度を養う。このクラスでは、KAISEI パーソナリティのA（自律）、I（知性）、及びIn（国際性）を養う。

授業の概要

社会言語学の演習である。社会言語学の領域、二言語使用・多言語使用、地域方言、社会方言について学ぶ。毎回その日のテーマについて各自がまとめてきたことを発表し、その後、全員でディスカッションを行う。また、レポート・論文の書き方の指導も行う。そして、演習Iの最後に、各々の研究について発表を行う。

授業計画

- 1 Introduction
- 2 方言と標準語
- 3 言語接触の研究
- 4 2言語使用と不完全言語使用
- 5 ダイグロシア
- 6 コード切り替えとコード混合
- 7 2言語使用教育、エポニックス論争
- 8 フィールドワーク、等語線と波動説
- 9 レポート・論文の書き方
- 10 社会階級と言語、ニューヨーク市の階層化
- 11 世代によることばの違い、性別とことばの問題
- 12 コックニー英語の特徴
- 13 アフリカ系米国人の英語の特徴
- 14 第1回～13回の授業の振り返り
- 15 個人研究発表

授業の方法

発表とディスカッションを中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

発表後は、担当教員によるフィードバックを行う。
平常点70%、定期試験30%

欠席について

出席点（100点満点）は全体の15%とし、欠席は1回につき20点減点、遅刻・早退は1回につき6点減点する。

テキスト

田中春美・田中幸子（編著）『よくわかる社会言語学』（ミネルヴァ書房）

参考図書

東昭二『社会言語学入門（改訂版）—生きた言葉のおもしろさに迫る』（研究社）

留意事項

- ・平常点には、発表、出席状況、日頃の学習態度等の評価が含まれる。
- ・定期試験は、個人研究レポートの提出とする。
- ・毎授業に出席するだけでなく、積極的に発言することで授業に参加・貢献してほしい。

教員連絡先

onoreiko@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅱ	b		13105	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
箕野 聡子	必修	2				

授業の到達目標

観光とは、ただ、視覚的に資源を披露することではない。訪れる側と迎える側とが、それぞれの地域や人を理解し合うことである。その理解の中心となる文化について研究し、観光が平和産業と呼ばれる理由を知る。このクラスはKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）とを養う。

授業の概要

日本の文化・文学が観光資源としてどのように受容され、また、再生・活用されているかを考える。文学・歴史・風俗習慣など、各自が興味あるテーマを選び研究することで、その文化を国外に、また、国内に紹介する意義を考察する。

授業計画

- 1 個人課題の研究発表・討論・講評
- 2 個人課題の研究発表・討論・講評
- 3 個人課題の研究発表・討論・講評
- 4 個人課題の研究発表・討論・講評
- 5 個人課題の研究発表・討論・講評
- 6 個人課題の研究発表・討論・講評
- 7 個人課題の研究発表・討論・講評
- 8 個人課題の研究発表・討論・講評
- 9 個人課題の研究発表・討論・講評
- 10 個人課題の研究発表・討論・講評
- 11 個人課題の研究発表・討論・講評
- 12 個人課題の研究発表・討論・講評
- 13 個人課題の研究発表・討論・講評
- 14 個人課題の研究発表・討論・講評
- 15 個人課題の研究発表・討論・講評

授業の方法

各人が興味を持ったテーマで発表を行い、それをメンバー全員で討議する。

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

出席状況（30％）、発表（30％）、レポート（40％）により評価する。提出されたレポートは、教員が指導してフィードバックする。

欠席について

規定に従う

テキスト

必要に応じて配布する

参考図書

必要に応じて紹介する

教員連絡先

mino@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅱ	c		13105	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

前期に学んだ内容を基礎に、学生の関心の高い英米の児童文学作品の原書を読み、英文の読解力を向上させる。また選んだ作品についてのテーマを考察し、考えをまとめて発表する力を養う。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、In（国際性）を養う。

授業の概要

前期に引き続き、児童文学の原書を読み、英語力を向上させるとともに、文学の鑑賞力を養う。また、読解した作品のアダプテーション作品を鑑賞し、それらの脚色法等について分析する。さらに、読解した2作品以外にも、学生が関心のある文学作品とそれらのアダプテーション作品についても調査、考察する。最後に、各自の考察を発表する。

授業計画

- 1 イントロダクション
- 2 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 1
- 3 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 1
- 4 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 2
- 5 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 3
- 6 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 4
- 7 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 5
- 8 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 6
- 9 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 7
- 10 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 8 & 9
- 11 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 10 & 11
- 12 "Alice's Adventures in Wonderland" Chapter 12
- 13 "Alice's Adventures in Wonderland" のまとめ
アダプテーション作品の鑑賞と分析
- 14 "Alice's Adventures in Wonderland" についての考察
アダプテーション作品の鑑賞と分析
Review Quiz
- 15 "Alice's Adventures in Wonderland" の内容についての発表

授業の方法

講義後、各自が原書講読をし、授業取り上げた作品について調べて

考察後、まとめて発表する。

準備学修

Webを参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点（発表含む）40％、小テスト 20％、レポート 40％
課題、小テスト、発表のフィードバックは授業中に行う。レポートは個別にフィードバックする。

欠席について

規定に従う。

テキスト

Lewis Carroll/ 丸橋良雄・伊藤佳代子 『不思議の国のアリス』英光社
その他は授業中に指示する。
ハンドアウトを使用する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は発表形式で行いますので、積極的に参加すること。
予習と復習が必須です。
授業には必ず辞書を持参すること。

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	c		13109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

英米の文学や戯曲の原書や卒業研究のための文献を読解することにより、文学作品の鑑賞眼を養うとともに卒業研究に必要な知識を学ぶ。演習Ⅰ、Ⅱで学んだ内容より、各自が定めたテーマについて調査をし、裏付けとなる根拠やデータを明確にして、論理的に文章として表現し、クラスにおいて発表する。このクラスでは、KAISEI パーソナリティのA（自律）、I（知性）、In（国際性）を養う。

授業の概要

授業では、演習Ⅰ、Ⅱで学んだ内容を参考にして、各自がテーマを決定し、研究のための資料、データ、先行論文等を調べて、卒業研究作成の準備を行う。授業の内容についてディスカッションと発表を行うので、授業準備を万全に行うことが必須である。

授業計画

- 1 イントロダクション
卒業研究について
- 2 卒業研究のテーマの発表
- 3 卒業研究のための研究計画を発表する。
- 4 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 5 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 6 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 7 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 8 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 9 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 10 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 11 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 12 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。

- 13 卒業研究のために集めた文献や資料を発表する。
学生が卒業研究のテーマに取り上げる文学作品や文献を読む。
- 14 各自の課題の発表とディスカッション
- 15 最終発表を行う。
まとめ

授業の方法

多読図書を読解し、それらのアダプテーション作品を考察する。個人研究の発表とディスカッションを中心にすすめてゆく。

準備学修

Webを参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点 20%、発表 40%、レポート 40%
課題、発表のフィードバックは授業中に行う。レポートは個別にフィードバックする。

欠席について

規定に従う。

テキスト

ハンドアウトを使用する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は積極的に参加すること。授業には必ず辞書を持参すること。

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅲ	d		13109	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
小野 礼子	必修	2				

授業の到達目標

ことばに対する理解を深め、様々な言語や言語変種、そして、それを使う人々に対する正しい態度を養う。このクラスでは、KAISEI パーソナリティのA（自律）、I（知性）、及び In（国際性）を養う。

授業の概要

社会言語学のテーマを扱う。言語と文化、発話行為と丁寧さ、言語政策と言語計画について考察する。授業は発表とディスカッションを中心に行う。その日のテーマについて各々がまとめてきたことを発表し、その後、全員でディスカッションを行う。また、卒業研究の指導も行う。そして、演習Ⅲの最後に、各々の研究について発表を行う。

授業計画

- 1 Introduction
- 2 卒業研究のテーマについて(1)
- 3 サビア＝ウォーフの仮説、親族関係の名称、色彩用語
- 4 面子(メンツ)、丁寧表現
- 5 呼称の種類、敬語
- 6 言語政策、言語教育政策
- 7 言語保持と言語取り換え、言語消滅と言語復活
- 8 卒業研究のテーマについて(2)
- 9 個人研究発表(1)
- 10 個人研究発表(2)
- 11 卒業研究計画書について(1)
- 12 卒業研究計画書について(2)
- 13 個人研究発表(3)
- 14 個人研究発表(4)
- 15 個人研究発表(5)

授業の方法

発表とディスカッションを中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

発表後は、担当教員によるフィードバックを行う。
平常点70%、定期試験30%

欠席について

出席点（100点満点）は全体の15%とし、欠席は1回につき20点減点、遅刻・早退は1回につき6点減点する。

テキスト

田中春美・田中幸子（編著）『よくわかる社会言語学』（ミネルヴァ書房）

参考図書

東照二『社会言語学入門（改訂版）—生きた言葉のおもしろさに迫る』（研究社）

留意事項

- ・平常点には、発表、出席状況、日頃の学習態度等の評価が含まれる。
- ・定期試験は、個人研究レポートの提出とする。
- ・毎授業に出席するだけでなく、積極的に発言することで授業に参加・貢献してほしい。

教員連絡先

onoreiko@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	b		13113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
箕野 聡子	必修	2				

授業の到達目標

観光とは、ただ、視覚的に資源を披露することではない。訪れる側と迎える側とが、それぞれの地域や人を理解し合うことである。その理解の中心となる文化について研究し、観光が平和産業と呼ばれる理由を知る。このクラスはKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）とを養う。

授業の概要

日本の文化・文学が観光資源としてどのように受容され、また、再生・活用されているかを考える。文学・歴史・風俗習慣など、各自が興味あるテーマを選び研究することで、その文化を国外に、また、国内に紹介する意義を考察する。

授業計画

- 1 個人課題の研究発表・討論・講評
- 2 個人課題の研究発表・討論・講評
- 3 個人課題の研究発表・討論・講評
- 4 個人課題の研究発表・討論・講評
- 5 個人課題の研究発表・討論・講評
- 6 個人課題の研究発表・討論・講評
- 7 個人課題の研究発表・討論・講評
- 8 個人課題の研究発表・討論・講評
- 9 個人課題の研究発表・討論・講評
- 10 個人課題の研究発表・討論・講評
- 11 個人課題の研究発表・討論・講評
- 12 個人課題の研究発表・討論・講評
- 13 個人課題の研究発表・討論・講評
- 14 個人課題の研究発表・討論・講評
- 15 個人課題の研究発表・討論・講評

授業の方法

各人が興味を持ったテーマで発表を行い、それをメンバー全員で討議する。

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

出席状況（30%）、発表（30%）、レポート（40%）により評価する。提出されたレポートは、教員が指導してフィードバックする。

欠席について

規定に従う

テキスト

必要に応じて配布する

参考図書

必要に応じて紹介する

教員連絡先

mino@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

演習科目〈演習科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
演習Ⅳ	c		13113	Ⅳ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	必修	2				

授業の到達目標

各自が定めたテーマについて調査をし、参考文献や資料を読み裏付けとなる根拠やデータを明確にして、論理的に文章として表現し、発表する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、In（国際性）を養う。

授業の概要

演習Ⅰ～Ⅲで学んだ内容を基礎として、各自のテーマについて、調査、研究を行う。授業では、研究のための資料、データ、先行論文等を用意して、ディスカッションと発表を行うので、授業準備を万全に行うことが必須である。

授業計画

- 1 イントロダクション
卒業研究の発表をする。
- 2 卒業研究の発表とディスカッション
- 3 卒業研究の発表とディスカッション
- 4 卒業研究の発表とディスカッション
- 5 卒業研究の発表とディスカッション
- 6 卒業研究の発表とディスカッション
- 7 卒業研究の発表とディスカッション
- 8 卒業研究の発表とディスカッション
- 9 卒業研究の発表とディスカッション
- 10 卒業研究の発表とディスカッション
- 11 卒業研究の発表とディスカッション
- 12 卒業研究の発表とディスカッション
- 13 卒業研究の発表とディスカッション
- 14 総まとめ
口頭試問について
- 15 卒業研究の口頭試問

授業の方法

各自が選んだテーマについて、書物、文献、論文などの読解、および資料の収集を行う。毎週の成果について、授業において発表とディスカッションを行う。

準備学修

Webを参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点 20%、発表 50%、レポート 30%

欠席について

規定に従う。

テキスト

必要に応じて配布する。

参考図書

必要に応じて指示する。

留意事項

授業は積極的に参加すること。授業には必ず辞書を持参すること。

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 101	101-3	13903	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
和泉 有香	必修	1			

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, Show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 1 Finding the Ideal Job: Reading One, Finding Your Ideal Job
- 3 Unit 1 Finding the Ideal Job: Reading One and Two, The Ideal Job
- 4 Unit 1 Finding the Ideal Job: Reading Two
- 5 Unit 1 Finding the Ideal Job: Focus on Writing 1
- 6 Unit 1 Finding the Ideal Job: Focus on Writing 2, The Adventures of Tom Sawyer
- 7 The Adventures of Tom Sawyer
- 8 Mid Term
- 9 Unit 2 Creative Thinking: Reading One, Can We Teach Creative Thinking in Schools?
- 10 Unit 2 Creative Thinking: Reading Two, Tips for Success in College
- 11 Unit 2 Creative Thinking: Focus on Writing 1
- 12 Unit 2 Creative Thinking: Focus on Writing 2
- 13 The Adventures of Tom Sawyer
- 14 The Adventures of Tom Sawyer
- 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbook : preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:
 Final Exam 40%
 Tests and Quizzes 30%
 Class Participation 20%
 Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Natasha Haugnes and Beth Maher, Northstar 2 : Reading & Writing, 5th edition. (Pearson)
 The Adventures of Tom Sawyer : Pearson Readers Level 1. (Pearson)

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

基礎科目 <コア・イングリッシュ>	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 101	101-4	13903	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子	必修	1			

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, Show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect through extensive reading.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Quick Book Report
- Chapter 1 Popular Sports
- 3 Shared Dictation
- Chapter 1 Popular Sports
- 4 Picture It (1)
- Chapter 1 Popular Sports
- 5 Picture It (2)
- Chapter 2 Healthy Eater
- 6 Interactive Reading Community (1)
- Chapter 2 Healthy Eater
- 7 Interactive Reading Community (2)
- Chapter 2 Healthy Eater
- 8 Gifts (1)
- Chapter 3 Dream Homes
- 9 Gifts (2)
- Chapter 3 Dream Homes
- 10 Sentence Detective (1)
- Chapter 3 Dream Homes
- 11 Sentence Detective (2)
- Chapter 4 Greetings
- 12 Favorite Quotation (1)
- Chapter 4 Greetings
- 13 Favorite Quotation (2)
- Chapter 5 A City Without Oil
- 14 My Own Story

Chapter 5 A City Without Oil
 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbooks: preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale:
 Book Report 30%
 Tests and Quizzes 30%
 Class Participation 30%
 Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Books for extensive reading of the college library.
 Oxford Select Readings Elementary, 2nd edition. Linda Lee

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基礎科目〈コア・イングリッシュ〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Grammar 303	303-5	13923	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子	必修	2			

授業の到達目標

In this class, students will strengthen their sense of internationality and autonomy.

授業の概要

Upon completion, learners will be able to comprehend and use past progressive, comparatives, and superlatives

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Chapter 8 Past Time, Part 1
- 3 Chapter 8 Past Time, Part 1
- 4 Chapter 9 Past Time, Part 2
- 5 Chapter 9 Past Time, Part 2
- 6 Chapter 9 Past Time, Part 2
- 7 Review
- 8 Mid Term
- 9 Chapter 15 Comparatives and Superlatives
- 10 Chapter 15 Comparatives and Superlatives
- 11 Chapter 15 Comparatives and Superlatives
- 12 Chapter 15 Comparatives and Superlatives
- 13 Chapter 15 Comparatives and Superlatives
- 14 Chapter 15 Comparatives and Superlatives
- 15 Review

授業の方法

Students will work in groups and individually

準備学修

Be familiar with the textbook : preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale :

Final Exam 40%
Tests and Quizzes 30%
Class Participation 20%

Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Pearson, Basic English Grammar, 4th edition. B.S. Azar & S.A. Hagen

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

基礎科目〈コア・イングリッシュ〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Pronunciation 304		13924	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
和泉 有香	選択	2	専門学校講師、(社)国際英語発音協会理事		

授業の到達目標

日本語と特に違いの大きい子音と母音の発音に習熟し、正しいリズムと強勢を伴って相手に伝わりやすい発話ができることを目標とする。また正しい発音を身につけることによってリスニング力を向上させる。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際性）を涵養する。

授業の概要

英語音声に関する実践的訓練を行い、「伝わる」英語発音を目指す。

授業計画

- 1 ガイダンス、Lesson 1 : The Internet
- 2 Lesson 2 : The Development of Computers
- 3 Lesson 3 : A Blend of Cultures
- 4 Lesson 4 : A Famous Old Town
- 5 Lesson 5 : A Pajama Party
- 6 Lesson 6 : Making a Speech
- 7 復習、中間考査
- 8 Lesson 7 : Mika's Speech
- 9 Lesson 8 : Let's Have a Debate!
- 10 Lesson 9 : Ha, ha, ha...
- 11 Lesson 10 : On the Top of the World
- 12 Lesson 11 : Protect Our World
- 13 Lesson 12 : I have a Dream
- 14 Lesson 1 ~ 6 総復習
- 15 Lesson 7 ~ 12 総復習、期末考査

授業の方法

リズムと強勢を意識し、多くの演習と音読練習を行う。また練習と復習の成果をチェックするため毎回個人的に発音チェックを行う。

準備学修

Webで参照すること

課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

欠席について

ふだんの練習の積み重ねを重視するため、欠席1回につき、平常点と定期試験点より算出した評価点より2点減点する。

テキスト

國弘正雄著「英会話ぜったい音読 標準編」（講談社インターナショナル）

参考図書

授業時に必要に応じて紹介する。

留意事項

付属CD教材を用いて確実に復習すること。毎回、発音記号が記載されている英和辞書（紙版、電子版など）を必ず持参すること。

教員連絡先

izumi@kaisei.ac.jp

基幹科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	ET	13501	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子／箕野 聡子	選択	2	私立中学高等学校教員 (科目「社会」) (箕野) 私立中学高等学校教員 (科目「英語」) (宮副)		

授業の到達目標

初等国語の一貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけるこども観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI (知性) を養う。(箕野)

すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティのA (自律) とI (知性)、In (国際性) を養う。(宮副)

授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。(箕野)
英米の児童文学の歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外では、フランスの1作品を鑑賞する。(宮副)

授業計画

- 1 巖谷小波「日本昔噺其一 桃太郎」
- 2 浜田広介「泣いた赤鬼」
- 3 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」
- 4 有島武郎「一房の葡萄」
- 5 与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
- 6 岡田淳「童退治の騎士になる方法」
- 7 日本の現代児童文学について
- 8 英米の児童文学の歴史
- 9 ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』とナーサリーライム
- 10 R.L.スティーブンソン『宝島』
- 11 L.F.ボーム『オズの魔法使い』
- 12 L.M.オルコット『若草物語』
- 13 ペアトリクス・ボター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本
- 14 アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

15 総まとめとReview Quiz

授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像鑑賞も行う。(箕野)
演習形式の授業である。学生の担当を決めて発表、およびグループディスカッションにより授業をすすめる。(宮副)

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。(箕野)
平常点15%、Review Quiz 20%、発表、および提出物 30%、レポート 35% (宮副)

欠席について

規定に従う。

テキスト

随時、プリントを配布する。(箕野)
『英米児童文学のベストセラー40』成瀬俊一編著 ミネルヴァ書房、および、プリントを配布する。(宮副)

参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

教員連絡先

mino@kasei.ac.jp
miyazoe@kasei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基幹科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
インターンシップ (海外)		13967	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
佐伯 瑠璃子	選択	2			

授業の到達目標

海外で就業体験をすることで、自国の文化のみならず他国の文化をも理解し、異文化との交流を通してグローバルな精神を培い、相手の考えに耳を傾け、自分の意見を発信しながらコミュニケーション能力を高める。実践的な活動を通し、将来の職業選択に備え自らの適性・能力を知る機会とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのA (自律)、In (国際性) とS (奉仕) を養う。

授業の概要

興味のある学生は登録のうえ、選択するプログラムをメールで連絡すること。

【アシスタント・ティーチャープログラム】
カリフォルニア州トランス市にある公立小学校で、専任教員のアシスタントとして子どもたちの指導に携わる。

- ・対象学科・学年：ET学科、PC学科2年次生以上
- ・期間：春季休暇中10日間以上
- ・委託機関：ライトハウス

【イベントコース：まつりインハワイ】
「まつりインハワイ」の運営業務、「旅行管理主責任・取得研修」プログラム。

- ・対象学科・学年：ET学科2年次生以上
- ・期間：6月中旬の1週間と国内における3回の事前研修
- ・委託機関：近畿日本ツーリスト

【観光ビジネスコース】
ハワイ州の観光業、ウェディング業、教育業などで、インターンシップを体験する。

- ・対象学科・学年：ET学科2年次生以上
- ・期間：夏季休暇もしくは春季休暇を利用して3～4週間
- ・委託機関：一般社団法人日本国際人材育成協会、他米国NPO法人

授業計画

- 1 事前学習
- 2 事前学習
- 3 現地実習
- 4 現地実習
- 5 現地実習
- 6 現地実習
- 7 現地実習

- 8 現地実習
- 9 現地実習
- 10 現地実習
- 11 現地実習
- 12 現地実習
- 13 現地実習
- 14 現地実習
- 15 ポートフォリオの提出(日報、レポートなど)及び発表

授業の方法

各自に設定されたプログラムに従うインターンシップ

準備学修

原則としてTOEIC400点以上を取得し、プログラム参加に必要な最低限の英語力をつけておくこと。

課題・評価方法、その他

課題は委託機関の基本方針に基づいて実施され、詳細は委託機関及び本学による。

- 各々のインターンシップは原則以下のプログラムによって構成される。
- ① 2～3回の事前学習 (英語研修や実習準備など)
 - ② 現地実習
 - ③ ポートフォリオの提出 (日報、レポートなど) と発表

欠席について

テキスト

教員連絡先

saeki@kasei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Oral Communication 500	a/b/秋	13939	Ⅲ	春／秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
Cory McKENZIE／James C. JENSEN	選択	2			

授業の到達目標

Upon completion of this course, students will be able to :

- participate in group discussions and interviews
- identify main ideas and supporting details from listening materials and prepare spoken and written summaries
- make inferences and give advice
- ask for and give reasons and supporting opinions
- identify facts and opinions
- demonstrate increasing conversation skills in common real-life situations, using appropriate vocabulary
- prepare and deliver two 3-5 minute classroom presentations focusing on preparation, organization, and use of PowerPoint and other visual aids

授業の概要

The purpose of this class is to develop both listening and speaking skills in a variety of situations. Some specific topics of discussion may include leisure activities, jobs, daily routines, and special days.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 1 Leisure and Sport
- 3 Unit 1 Leisure and Sport
- 4 Unit 2 Firsts and Lasts
- 5 Unit 2 Firsts and Lasts
- 6 Review
- 7 Presentations
- 8 Mid Term
- 9 Unit 3 Work and Rest
- 10 Unit 3 Work and Rest
- 11 Unit 4 Special Days
- 12 Unit 4 Special Days
- 13 Review
- 14 Presentations
- 15 Presentations

授業の方法

Students will work together in pairs and groups.

準備学修

Be familiar with the textbook : preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale :

Final Exam 20%
Tests and Quizzes 10%
Presentations 40%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Longman Cutting Edge Pre-Intermediate, 3rd ed. Sarah Cunningham, Chris Redston with Peter Moor

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation in class is essential

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 501	春/秋	13941	Ⅲ	春／秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
國本 恵理香／宮副 紀子	選択	2			

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Chapter 1 Answering 6 Common Interview Questions
- 3 Chapter 1 Answering 6 Common Interview Questions
- 4 Chapter 2 Young Women Changing the World
- 5 Chapter 2 Young Women Changing the World
- 6 Chapter 3 Student Learning Teams
- 7 Chapter 3 Student Learning Teams
- 8 Mid Term
- 9 Chapter 4 Learning to Speak
- 10 Chapter 4 Learning to Speak
- 11 Chapter 5 The Man in the Moon Has Company
- 12 Chapter 5 The Man in the Moon Has Company
- 13 Chapter 6 Culture Shock
- 14 Chapter 6 Culture Shock
- 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbook : preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale :

Final Exam 40%
Tests and Quizzes 30%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Oxford Select Readings Intermediate, 2nd edition. Linda Lee & Erik Gundersen
Oxford Bookworms A Tale of Two Cities by Charles Dickens retold by Ralph Mowat

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Oral Communication 600	a/b	13947	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
Christopher BIRTWISTLE/Tiffany DAIGLE	選択	2			

授業の到達目標

Upon completion of this course, students will be able to :

- participate in group discussions and interviews
- lead a group discussions
- agree and disagree with opinions
- ask for and give clarification
- use a variety of intonation and word stress for key words
- demonstrate increasing conversation skills in common real-life situations, using appropriate vocabulary
- prepare and deliver two 3-5 minute classroom presentations focusing on preparation, organization, and use of PowerPoint and other visual aids

授業の概要

The purpose of this class is to develop both listening and speaking skills in a variety of situations. Some specific topics of discussion may include city life, equipment, accidents and injuries, and survival items.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Unit 8 Places to Live
- 3 Unit 8 Places to Live
- 4 Unit 9 Old and New
- 5 Unit 9 Old and New
- 6 Review
- 7 Presentations
- 8 Mid Term
- 9 Unit 10 Take Care
- 10 Unit 10 Take Care
- 11 Unit 11 The Best Things
- 12 Unit 11 The Best Things
- 13 Review
- 14 Presentations
- 15 Presentations

授業の方法

Students will work together in pairs and groups.

準備学修

Be familiar with the textbook : preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale :

Final Exam 20%
Tests and Quizzes 10%
Presentations 40%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Longman Cutting Edge Pre-Intermediate, 3rd ed. Sarah Cunningham, Chris Redston with Peter Moor

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation in class is essential

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Reading 601	a/b	13949	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
後藤 江里/宮副 紀子	選択	2			

授業の到達目標

Locate and understand main ideas and details, show increasing ability to understand readings using skills such as skimming, scanning, and pronoun reference. Write main idea sentences. Express opinions about readings. Develop intelligence and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop vocabulary skills and reading, including skimming and scanning, taking notes, predicting, and cause and effect.

授業計画

- 1 Introduction
- 2 Chapter 8 A Young Blind Whiz
- 3 Chapter 8 A Young Blind Whiz
- 4 Chapter 9 How to Make a Speech
- 5 Chapter 9 How to Make a Speech
- 6 Chapter 10 Conversational Ball Games
- 7 Chapter 10 Conversational Ball Games
- 8 Mid Term
- 9 Chapter 11 Letters of Application
- 10 Chapter 11 Letters of Application
- 11 Chapter 12 Out to Lunch
- 12 Chapter 12 Out to Lunch
- 13 Chapter 13 Public Attitudes Toward Science
- 14 Chapter 13 Public Attitudes Toward Science
- 15 Review

授業の方法

Students will work individually, in pairs and in groups

準備学修

Be familiar with the textbooks : preview and review

課題・評価方法、その他

Your final grade will be determined using the following scale :

Final Exam 40%
Tests and Quizzes 30%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

As stated in university guidelines, 100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Oxford, Select Readings Intermediate, 2nd edition. Linda Lee & Erik Gundersen
Harper Collins, Sarah, Plain and Tall. Patricia MacLachlan

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation is essential

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語科教育法Ⅱ	ET		13709	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
宮副 紀子	選択	2	私立中学高等学校教員(科目「英語」)			

授業の到達目標

中学校・高等学校における英語学習・指導の知識、授業指導の基礎及び異文化理解を、次に続く英語科教育法Ⅲ・Ⅳの授業との連携も視野に入れて徹底する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK(思いやり)、I(知性)、In(国際性)、E(倫理)を学ぶ。

授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」の養成を重要な柱と位置づけ、以下(授業計画)の具体的項目に関して教育法の鳥瞰図の全体像を示し、学生の自覚・理解を促す。

授業計画

- 1 はじめに:授業の概要について
- 2 学習指導要領の理解
- 3 英語の指導目標と内容
- 4 学習者の要因
- 5 言語習得の理論と諸問題
- 6 発音の指導
- 7 文字と綴りの指導
- 8 語彙表現、文法の指導
- 9 リスニングの指導
- 10スピーキングの指導
- 11リーディングの指導
- 12ライティングの指導
- 13言語技術を統合した指導
- 14異文化理解
- 15 総括(複数領域を統合した言語活動の指導を中心に)
- 16 定期試験

授業の方法

講義のほかに各自の発表を多く取り入れる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

課題:講義のテーマによってはレポート作成を課し、講義中、あるいは個人指導においてフィードバックを行う。
評価方法:平常点30%、定期試験70%
授業中の積極的な質疑応答を高く評価する。

欠席について

欠席・遅刻については一定の比率で減点する。

テキスト

土屋澄男・広野威志『最新英語科教育法入門』研究社

参考図書

白井恭弘『外国語学習の科学—第二言語習得論とは何か』(岩波書店)
中学校学習指導要領解説 外国語編 [最新版] (文部科学省)
高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編 [最新版] (文部科学省)
その他、必要に応じて、随時紹介する。

留意事項

課題担当者は、発表の内容のみならず、プレゼンテーションの方法も工夫すること。

教員連絡先

miyazoe@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
キッズ・イングリッシュ I	ET		13725	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J-shineの小学校指導者認定コースにて10年以上の指導経験あり。			

授業の到達目標

小学校外国語教育における背景知識や教材、多様な指導技術、評価などを、小学校の役割及び中・高等学校の外国語教育との連携を視野に入れて身に付ける。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK(思いやり)の育成を目指す。

授業の概要

小学校学習指導要領における「5つの領域」の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法指導について、児童期の学習者の特性と英語授業の在り方を踏まえた知識と技術を以下の「授業計画」の具体的項目に従って身に付ける。

授業計画

- 1 小学校外国語教育の目標・内容(1)年間指導計画と中小高連携
- 2 小学校外国語教育の目標・内容(2)教材研究と学習指導案作成法
- 3 小学校外国語教育の目標・内容(3)ICTの効果的な活用法
- 4 コミュニケーション能力を育成する指導法 ティームティーチング
- 5 コミュニケーション能力を育成する指導法 発話を促す活動
- 6 小学校英語教材研究(1)音声習得中心の活動
- 7 小学校英語指導法(ワークショップ)(1)音声習得中心の活動
- 8 小学校英語教材研究(2)文字習得中心の活動
- 9 小学校英語指導法(ワークショップ)(2)文字習得中心の活動
- 10 小学校英語教材研究(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 11 小学校英語指導法(ワークショップ)(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 12 小学校英語教材研究(4)言語使用の場面・背景(物語)に焦点を当てた活動
- 13 小学校英語指導法(ワークショップ)(4)物語の場面・背景に焦点を当てた活動
- 14 小学校英語 模擬授業
- 15 Can・Doによる英語能力の測定とパフォーマンス評価、模擬授業の振り返り

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

『小学校英語はじめる教科書 改訂版』吉田研作(監修)小川隆夫、東仁美(著) mpi松香フォニックス
適宜プリントを配布する。

参考図書

『小学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年
『Let's Try! 1』『Let's Try! 2』文部科学省
その他、必要に応じて、随時紹介する。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童文学	PC	17437	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
宮副 紀子／箕野 聡子	選択	2	私立中学高等学校教員（科目「社会」）（箕野） 私立中学高等学校教員（科目「英語」）（宮副）		

授業の到達目標

初等国語の一貫として、児童文学を学ぶことにより、文化におけるこども観を理解するとともに、文学作品の読解力を養うことを目的とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。（箕野）

すぐれた児童文学は普遍的テーマを有しており、子どもだけでなく大人にも深い感動を与えてくれる。海外の代表的な児童文学を鑑賞することにより、様々な視点から文学を読解する力を養うことを目的とする。KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）、In（国際性）を養う。（宮副）

授業の概要

日本の近現代児童文学を取り上げる。日本の児童文学は、初めは大人の側に立ったものであった。そこには、発表当時の日本文化が反映され、大人が子どもに求めた理想がわかりやすい言葉で表現されている。児童文学がそのような観念から脱し、子どもの世界を獲得していく様子を考察する。（箕野）

英米の児童文学の歴史を学びながら英米の代表的な児童文学作品について考察する。また英米以外では、フランスの1作品を鑑賞する。（宮副）

授業計画

- 1 巖谷小波「日本昔噺其一桃太郎」
- 2 浜田広介「泣いた赤鬼」
- 3 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」
- 4 有島武郎「一房の葡萄」
- 5 与謝野晶子「きんぎょのおつかい」
- 6 岡田淳「童退治の騎士になる方法」
- 7 日本の現代児童文学について
- 8 英米の児童文学の歴史
- 9 ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』とナーサリーライム
- 10 R.L.スティーブンソン『宝島』
- 11 L.F.ボーム『オズの魔法使い』
- 12 L.M.オルコット『若草物語』
- 13 ベアトリクス・ポター『ピーターラビットのおはなし』と代表的な絵本
- 14 アントワーン・ド・サン＝テグジュペリ『星の王子様』

15 総まとめとReview Quiz

授業の方法

講義中心の授業である。必要に応じて映像鑑賞も行う。（箕野）
演習形式の授業である。学生の担当を決めて発表、およびグループディスカッションにより授業をすすめる。（宮副）

準備学修

Web参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%で評価する。また、毎回ノートの提出を求める。ノートは、次の週に教員が評価して返却する。（箕野）
平常点15%、Review Quiz 20%、発表、および提出物 30%、レポート 35%（宮副）

欠席について

規定に従う。

テキスト

随時、プリントを配布する。（箕野）
『英米児童文学のベストセラー40』成瀬俊一編著 ミネルヴァ書房、および、プリントを配布する。（宮副）

参考図書

必要に応じて、授業中に随時紹介する。

教員連絡先

mino@kasei.ac.jp
miyazoe@kasei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
乳幼児心理学		17445	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
長谷川 貴子	選択	2	公認心理師、臨床心理士		

授業の到達目標

乳幼児期の運動・知覚・認知・知性・言葉・社会性・遊びの発達について学ぶ。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）を養う。

授業の概要

新生児や乳幼児が獲得する能力の豊かさや多様性についての知識を深めるとともに、保育場面においてそれらを育み、促進する大人の関わりについて検討する。

授業計画

- 1 はじめに：乳幼児心理学とは
- 2 胎児の発達
- 3 身体・運動機能の発達
- 4 知覚の発達
- 5 認知・思考の発達
- 6 情緒の発達
- 7 ことばの発達
- 8 自己の発達
- 9 親子関係の形成と発達Ⅰ：錯覚から脱錯覚へ
- 10 親子関係の形成と発達Ⅱ：愛着
- 11 社会性・道徳性の発達
- 12 子育て・親としての成長と支援
- 13 乳幼児虐待
- 14 発達の偏りと支援
- 15 まとめ

授業の方法

講義とグループワークを中心とする。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

定期試験、小レポート、出席

欠席について

学内の規定に従う。

テキスト

適宜配布する